

H24

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B	
番号・取組事業名	13001	男女共同参画の啓発推進		作成日	H24.4.1		
担当部署	160200	地域づくり推進部 男女共同参画室		責任者	谷口 恵子		
取組年度	H23	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	男女共同参画推進のための啓発事業を市民と協働で実施する。平成17年から21年度までの啓発事業への若い世代の参加割合の平均は17.2%と低調であるが、高齢社会に対応した男女共同参画の推進には若い世代の参画が不可欠である。また、平成22年度の事業仕分けにおいて、若い世代や男性に向けた啓発に取り組むべきと指摘を受けた。今後、性別にとられない家事・子育て・介護などの家庭生活や社会活動への理解を深めるために、男性とこれからの社会を担う若い世代に広く啓発することで、ワーク・ライフ・バランスの推進を目指す。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	進んでいる	講演会講師を子育て世代に依頼したり、分科会の内容も若い世代や男性が参加しやすいものを用意するなど、企画や啓発内容の工夫に努めた。					
平成24年度	実施	・若い世代や男性を視点とした啓発事業への協働の働きかけ					
平成25年度	実施	・若い世代や男性を視点とした啓発事業の実施					
平成26年度	実施	・男女共同参画を視点とした市民意識調査の実施					
平成27年度	完了	・市民意識調査結果を踏まえた啓発事業の検討					
成果指標	指標名	啓発事業への若い世代の参加割合				単位	%
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0	50.0
	実績値	23.0	33.8				
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
	見込まれる その他効果 (金額以外)	今まで参加が少ない男性や若い世代に、直接、ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画について、理解促進を図ることができる。					

H24

アクションプラン(平成24年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B			
番号・取組事業名	13001	男女共同参画の啓発推進	作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31			
担当部署	160200	地域づくり推進部 男女共同参画室	責任者	谷口 恵子	担当者	男女共同参画担当			
	区分	取組内容・目標							
平成24年度	実施	・若い世代や男性を視点とした啓発事業への協働の働きかけ							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	内部での企画等の検討			○					
2	シンポジウムの実行委員会立ち上げ			○					
3	実行委員会で企画内容の検討				○				
4	シンポジウムの広報・周知					○			
5	シンポジウムの開催, 来年度以降に向けた改善の検討						○		
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	・基調講演で子育てに関するテーマを取り上げ, 保育を用意することで, 子育て中の人々が参加しやすいように配慮して準備を進めている。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	啓発事業への若い世代の参加割合		計画値	単位	%	実績値	単位	%
					35.0			33.8	
	達成状況【成果】	一部達成	コメント	基調講演を子育てに関するテーマにしたことで, 例年より, 子ども連れ, 夫婦での参加申込みが多かった。実態の構成比としてはアンケート回答者で10～40代が33.8パーセントで, 保育も3歳までの子どもで過半数を占めた。また分科会では, 親子で参加できるものを用意し, 親子のコミュニケーション方法の提案や子育てへの父親の係わり方についての意見交換などを行い好評だった。					
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント	今後も, 20～40代を中心に, 工夫しながら啓発活動を継続していく。					
	計画値	無							
評価	評価者	窪井 公輔		※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B		コメント 指示事項	市民との協働を活かしながら, 特に若い世代への啓発を推進していくために, 今後, シンポジウムのテーマの選定や開催方法などを工夫するなど, 時代に即応した啓発方法を検討する。				
	方向性	継続実施							

H24

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B	
番号・取組事業名	13002	審議会等への女性の登用促進	作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31	
担当部署	160200	地域づくり推進部 男女共同参画室	責任者	谷口 恵子	担当者	男女共同参画担当	
取組年度	H23	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	審議会等の委員は男性が多い状況であるが、男女共同参画の視点から、政策・方針決定過程に男性と女性の双方が参画できるように審議会等で女性委員の割合が35%となることを目指す。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	進んでいる	関係各課との連携により、平成23年10月1日現在で、計画値31%を達成した。					
平成24年度	実施	関係課との連携による審議会等への女性の登用促進に対する各担当部署への働きかけ					
平成25年度	実施	関係課との連携による審議会等への女性の登用促進に対する各担当部署への働きかけ					
平成26年度	実施	関係課との連携による審議会等への女性の登用促進に対する各担当部署への働きかけ					
平成27年度	完了	関係課との連携による審議会等への女性の登用促進に対する各担当部署への働きかけ					
成果指標	指標名	審議会等における女性委員の割合				単位	%
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0	35.0
	実績値	31.0	31.7				
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	政策・方針決定過程に男性と女性の双方がバランスよく参画することで、柏市の男女共同参画を推進する効果がある。						

H24

アクションプラン(平成24年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	13002	審議会等への女性の登用促進	作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31		
担当部署	160200	地域づくり推進部 男女共同参画室	責任者	谷口 恵子	担当者	男女共同参画担当		
	区分	取組内容・目標						
平成24年度	実施	関係課との連携による審議会等への女性の登用促進に対する各担当部署への働きかけ						
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1	審議会等の登用状況の把握			○		○		
2	選任時期に向けた登用への理解促進					○		
3	子育て世代の登用促進のため、会議時における保育提供の周知			○			○	
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会委員は、男性が多く女性が少ない傾向が強いため、多様な視点で審議がされるよう、女性の登用について、各担当課に依頼を行った。 ・子育て中の人も参画しやすいように保育の希望がある場合は、担当課と連携し保育支援を行っている。 				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	審議会等における女性委員の割合	計画値	単位 32.0	%	実績値	単位 31.7	%
	達成状況【成果】	未達成	コメント	平成24年10月1日現在、審議会等における女性の割合は、31.7パーセントとなった。女性の比率も徐々に向上しているが、会議開催時に託児を提供したことで、同審議会の前回の公募時に比べ、応募委員の平均年齢が下がった。現在、子育て世代の委員が複数の審議会等で活躍している。25年度の改選に向け、引き続き女性の登用についての働きかけを行い、託児の提供も続けていく。				
	進捗状況【活動】	計画どおり						
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント				
計画値		無						
評価	評価者	窪井 公輔	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	保育の提供を行うことで子育て世代の応募が増え、女性の登用促進だけでなく、応募者全体の平均年齢が下がるなどの効果も出ている。今後は、より幅広く女性の登用ができるよう工夫する。				
	方向性	継続実施						

H24

アクションプラン(平成24年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	A		
番号・取組事業名	13003	市民大学事業	作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31		
担当部署	160300	地域づくり推進部 協働推進課	責任者	窪井 公輔	担当者	有馬 貴子		
	区分	取組内容・目標						
平成24年度	実施	・定期的に講座を実施し、市民大学の定着を目指す。						
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1	市民大学の運営管理(運営委員会の開催、進捗管理、次年度クラスの決定等)			○	○		○	
2	平成23年度・24年度開講クラスの運営(計4クラス)			○	○	○	○	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度クラスは9月に修了し、24年度は新たに3クラスを開講した。 ・次年度クラスについても市民大学運営委員会で検討を進めている。 				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	地域活動等に参加する新たな人材の発掘	計画値	単位	人	実績値	単位	人
				50			74	
	達成状況【成果】	達成	コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・9月に修了したクラスの学生は市民公益活動団体を立ち上げた。 ・24年度開講クラスについて、様々な媒体で広報を行った結果、10代から70代までの全ての層から参加があった。 				
	進捗状況【活動】	計画どおり						
計画変更(次年度以後)	取組内容	有	コメント	事業の継続をさらに推進していくためには、成果物の産出を目標とするよりも市民大学の定着と促進を目指すことを優先したいため、変更する。				
	計画値	無						
評価	評価者	石黒 博	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	A	コメント 指示事項	実施状況を検証しながら、取り組み内容を検討していくこと。				
	方向性	継続実施						

アクションプラン(平成24年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	A		
番号・取組事業名	13004	地域づくり推進事業	作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31		
担当部署	160400	地域づくり推進部 地域支援課	責任者	窪井 公輔	担当者	牧野共子		
	区分	取組内容・目標						
平成24年度	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりや人づくりを進めていく。 ・地域活動, 市民活動等に新たに参加する人材を発掘する。 						
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
1	地域課題解決事業実施の支援			○	○	○	○	
2	地域活性化モデル事業の立ち上げ及び充実			○	○	○	○	
3	地域づくり推進委員研修会				○		○	
4	実施事業の分析, 先進事例情報収集等			○	○	○	○	
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	遅れている	コメント	<p>各コミュニティエリアにおいてふるさと協議会と進めている地域づくり推進事業では「市民公益活動補助金」等を獲得し, 地域課題解決のための取り組みを進めている。また, 各ふるさと協議会に選任をお願いしている地域づくり推進員の情報交換会を7月に行った。</p> <p>なお, 24年度のふるさと協議会への補助金制度変更に伴い, 一部の地域では前年度協議に基づく活動が滞っている。</p>				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	地域活動等に参加する新たな人材の発掘	計画値	単位	人	実績値	単位	人
				30			38	
	達成状況【成果】	達成	コメント	<p>各コミュニティエリアにおいてふるさと協議会と進めている地域づくり推進事業では, 4事業が「市民公益活動補助金」を獲得する等, 地域課題解決のための取組を進めることができた。しかしながら, 試行あるいは内部的な準備段階のため24年度は成果を得られるまでには至らなかった取組や, 24年度のふるさと協議会への補助金制度変更に伴い建設的な取組が出来なかったふるさと協議会があった。</p>				
	進捗状況【活動】	遅れている						
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント					
	計画値	無						
評価	評価者	石黒 博	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	各ふるさと協議会とコミュニケーションをとりながら進めて行くこと。				
	方向性	継続実施						

H24

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	13005	ストップ温暖化サポーター事業等の推進	作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31		
担当部署	080500	環境部 環境保全課	責任者	岩崎克康	担当者	環境政策担当		
取組年度	H23	～	H27					
効果	歳出削減	その他改善						
最終目標	<p>温暖化防止対策を推進するため、市民が活動している「かしわ環境ステーション運営協議会」や「ストップ温暖化サポーター」が主体で行っている温暖化対策事業の拠点となる『地球温暖化防止活動センター』を設置するとともに、柏市の温暖化対策を集約したWEBサイトを構築し、市民の参画・参加を得ながら普及啓発を図る。</p> <p>センター立上時には、柏市環境保全協議会などの事業者会員加入により、市の委託料が削減できる</p> <p>80会員×2千円＝160千円</p>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	計画どおり	「かしわ環境ステーション」や「SOS事業」で実施されている温暖化防止対策事業に加え、センター設置時に必要となる温暖化防止の専用WEBサイトを立ち上げた。						
平成24年度	実施	温暖化防止活動団体の活動事業充実						
平成25年度	実施	センターの開設と温暖化防止活動の推進						
平成26年度	実施	温暖化防止活動の推進						
平成27年度	完了	温暖化防止活動の推進						
成果指標	指標名	温暖化防止の普及啓発事業の回数				単位	事業数	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	10	10	20	25	30	30	
	実績値	12	10					
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額	0	0	160	160	160	480
		実績額	0					0
	計	計画額	0	0	160	160	160	480
		実績額	0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	<p>柏市の温暖化活動及び各団体の活動状況の提供並びに市民が温暖化防止活動から情報提供を得る</p> <p>温暖化防止活動団体の充実を図る。</p> <p>カーボンオフセット制度の導入など新たな取組により、家庭等から排出される温室効果ガスの削減が見込まれる</p> <p>カーボンオフセット制度の導入など新たな取組により、家庭等から排出される温室効果ガスの削減が見込まれる</p> <p>カーボンオフセット制度の導入など新たな取組により、家庭等から排出される温室効果ガスの削減が見込まれる</p>							

H24

アクションプラン(平成24年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	13005	ストップ温暖化サポーター事業等の推進	作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31		
担当部署	080500	環境部 環境保全課	責任者	岩崎克康	担当者	環境政策担当		
	区分	取組内容・目標						
平成24年度	実施	温暖化防止活動団体の活動事業充実						
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
1	かしわ環境ステーションのNPO法人化に向けた準備作業				○	○	○	
2	かしわ環境ステーション各種環境学習講座の実施			○	○	○	○	
3	ストップ温暖化サポーター出前講座			○	○	○	○	
4	ストップ温暖化サポーター緑のカーテン普及啓発事業			○	○	○		
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	かしわ環境ステーション事業, ストップ温暖化サポーター事業とも計画どおり進捗している。				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	温暖化防止の普及啓発事業の回数	計画値	単位	事業数	実績値	単位	事業数
				10			10	
	達成状況【成果】	達成	コメント	温暖化防止の普及啓発事業については温暖化防止活動団体である「ストップ温暖化サポーター」が中心となり行った。市内大型商業施設で行った「かしわ環境フェスタ」は多くの方に来場していただき、幅広い層に温暖化防止について考えていただく機会となった。また、緑のカーテン普及啓発事業や出前講座についても多くの参加があった。				
	進捗状況【活動】	計画どおり		かしわ環境ステーションで行った「ソーラークッカー作成」は好評であったため、将来的に小学校での出前講座につなげていきたい。				
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント					
	計画値	無						
評価	評価者	伊原 優	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	サポーター事業は継続しながら, 更に効率的な事業化について検討していきます。				
	方向性	継続実施						

H24

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	13006	柏市生きもの多様性プランの推進		作成日	H24.4.1			
担当部署	080500	環境部 環境保全課		責任者	岩崎克康			
取組年度	H23	～	H27					
効果	その他改善							
最終目標	『柏市生きもの多様性プラン』に基づく、生物多様性の保全、再生を目指す。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	進んでいる	生きもの多様性プランに沿った施策の実施						
平成24年度	実施	生きもの多様性プランに沿った施策の実施						
平成25年度	実施	生きもの多様性プランに沿った施策の実施						
平成26年度	実施	生きもの多様性プランに沿った施策の実施						
平成27年度	完了	生きもの多様性プランに沿った施策の実施						
成果指標	指標名	人里の生きものの種類・生き物多様性重要地区の保全状況				単位	種類数・状況	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	動物153種 植物196種	動物153種 植物196種	動物153種 植物196種	動物153種 植物196種	動物153種 植物196種	動物153種 植物196種	
	実績値	動物153種 植物197種	動物153種 植物197種					
効果額	歳入増加	計画額	0	0	0	0	0	
		実績額						0
	歳出削減	計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額						0
	計	計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	生きもの多様性を保全できる環境を将来にわたって有することであり自然からの恵沢を将来に継承できる。							

アクションプラン(平成24年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B	
番号・取組事業名	13006	柏市生きもの多様性プランの推進	作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31	
担当部署	080500	環境部 環境保全課	責任者	岩崎克康	担当者	自然環境	
	区分	取組内容・目標					
平成24年度	実施	生きもの多様性プランに沿った施策の実施					
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	生きもの多様性重要地区の継続調査とカルテ作成			○	○	○	○
2	保全活動体制づくり			○	○		○
3	生きもの多様性空間の基本設計				○	○	○
4	フットパスの検討			○		○	○
5	生きもの環境影響評価制度の検討			○	○		○
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	フットパスの検討について若干の遅れがあるが、概ね順調に進んでいる。			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	人里の生きものの種類・生き物多様性重要地区の保全状況		計画値	単位 動物153種 植物196種	実績値	単位 動物153種 植物197種
	達成状況【成果】	一部達成	コメント	フットパスの検討についてフットパスコース案は作成したが、休耕地の利用や傷がついているような「B級農産物」の活用等農家とふれあえる機会など農業振興の視点を加味する必要があるとの意見が多様性プラン推進委員からあった。 また、利根運河地区のフットパスコースを既に作成している部署があることから次年度以降、関係課と協議し、作成することとなった。 フットパスの検討以外は概ね順調に進んでいる。			
	進捗状況【活動】	計画どおり					
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント			
計画値		無					
評価	評価者	伊原 優	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	生きもの多様性プランの内容で関連他部課との調整を速やかに実施していきます。			
	方向性	継続実施					

H24

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B	
番号・取組事業名	13007	消防団運営事業		作成日	H24.4.1		
担当部署	400100	消防局総務課		責任者	大井成介		
取組年度	H23	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	「自らの地域は自ら守る」という郷土愛護の精神に基づき、市民の安心・安全を守るための組織の確立。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	計画どおり	団員による新たな担い手募集活動により、条例定数は確保が出来た。広報かしわ、消防局HPにより消防団への理解の促進が進み、救命サポート隊の活動による応急手当指導の普及促進が図られた。					
平成24年度	実施	条例定数の確保、各種消防団活動の広報(PR)の充実、救命サポート隊による救命率の向上					
平成25年度	実施	条例定数の確保、各種消防団活動の広報(PR)の充実、救命サポート隊による救命率の向上					
平成26年度	実施	条例定数の確保、各種消防団活動の広報(PR)の充実、救命サポート隊による救命率の向上					
平成27年度	完了	条例定数の確保、各種消防団活動の広報(PR)の充実、救命サポート隊による救命率の向上					
成果指標	指標名	消防団員の定数確保				単位	人
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	617	617	617	617	617	617
	実績値	617	617				0
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	消防団員数の確保による、災害に強いまちづくり・ひとづくりの向上						

H24

アクションプラン(平成24年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B			
番号・取組事業名	13007	消防団運営事業	作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31			
担当部署	400100	消防局総務課	責任者	大井成介	担当者	消防団担当			
	区分	取組内容・目標							
平成24年度	実施	条例定数の確保, 各種消防団活動の広報(PR)の充実, 救命サポート隊による救命率の向上							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	消防団と自主防災組織との協働化の推進			○	○	○	○		
2	消防団と事業所の協力体制の推進(消防団協力事業所表示証交付)			○					
3	消防団協力事業所表示証に関するPR(推薦及び募集)			○	○	○	○		
4	消防団活動の広報(PR)の充実(柏市消防団年間事業の情報提供)			○	○	○	○		
5	救命サポート隊による応急手当(普通救命講習含)の普及率向上			○	○	○	○		
6	条例定数の確保						○		
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	市広報紙を活用し, 消防団の活動をPRした。さらに消防局ホームページを行事ごとに更新している。消防団協力事業所については, さらなる消防団表示証交付事業の拡充を図る。救命サポート隊については, 定期普通救命講習積極的に活動し, 消防団退団者をいち早く把握し, 新たに救命サポート隊員の増員を図っている。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	消防団員の定数確保		計画値	単位	人	実績値	単位	人
					617			617	
	達成状況【成果】	達成	コメント	現役消防団員の人員を確保するための努力や各自治会の方々の協力が大きいので, 担当部署として, 市広報紙, 消防局ホームページ, 総務省消防庁配布のポスター, パンフレットを活用できるようにサポートした。					
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	有	コメント	女性消防団を採用することで, 消防団組織を活性化させ, 消防団活動の充実を図る。					
	計画値	有							
評価	評価者	羽石 清二	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	・様々な情報メディアを活用し, 継続して市民に魅力ある消防団を広くPRしていただきたい。 また, 女性消防団員の採用により, 消防団活動の活性化が期待されます。実現に向けて準備を進めて頂きたい。					
	方向性	継続実施							

H24

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B	
番号・取組事業名	13008	協働事業提案制度		作成日	H24.4.1		
担当部署	160300	地域づくり推進部 協働推進課		責任者	高橋 直資		
取組年度	H24	～	H25				
効果	その他改善						
最終目標	協働事業提案制度による協働事業採択件数が毎年度3件を目指し、市民との協働の促進を図る。市民団体の提案により、市の既存事業の改善について図る制度とする。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度							
平成24年度	実施	行政指定テーマの実施により、提案件数・採択件数の増加を図る。					
平成25年度	完了	行政指定テーマの実施。 市民団体に対し、提案の募集に際しては市の既存事業の見直しという視点についても広く周知する。					
平成26年度							
平成27年度							
成果指標	指標名	協働事業提案制度による協働事業採択件数				単位	件
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値		3	3	3	3	3
	実績値		3				0
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額					0
		実績額					0
見込まれる その他効果 (金額以外)		庁内における協働の推進	庁内における協働の推進と既存事業の見直しの視点	庁内における協働の推進と既存事業の見直し	庁内における協働の推進と既存事業の見直し		

H24

アクションプラン(平成24年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	13008	協働事業提案制度	作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31		
担当部署	160300	地域づくり推進部 協働推進課	責任者	高橋 直資	担当者	有馬 貴子		
	区分	取組内容・目標						
平成24年度	実施	行政指定テーマの実施により、提案件数・採択件数の増加を図る。						
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
1	行政指定テーマに対する団体の事業提案募集			○				
2	(選考を通った場合)調整協議の実施				○			
3	成果を庁内に公表					○		
4	平成25年度行政指定テーマの募集						○	
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・H24年度は4件の提案があり、そのうち3件が採択された。 ・採択3件については、提案団体、担当部署との調整会議を経て、協働事業提案選考委員会から提言書の提出を受けた。 				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	協働事業提案制度による協働事業採択件数	計画値	単位	件	実績値	単位	件
				3			3	
	達成状況【成果】	達成	コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な媒体により広報を行ったところ、全体で4件の提案に繋がった。 ・行政指定テーマについては、テーマに近い活動をしている複数の団体に、個別に案内メールを出したところ、2件の提案があり、そして採択された。 				
	進捗状況【活動】	進んでいる						
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント					
	計画値	無						
評価	評価者	窪井 公輔	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	市民との協働については、団体と行政の責任分担や役割などを明確にするとともに、協働に対して市職員の意識改革が必要である。				
	方向性	取組み強化						

H24

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B	
番号・取組事業名	13009	市民との協働による講座の企画		作成日	H24.4.1		
担当部署	281100	生涯学習部中央公民館		責任者	海老原謙一		
取組年度	H24	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	<p>公民館には、個人の要望や社会の要請に応える(教育基本法第13条)「ことができるよう、多種・多様な事業を展開することが求められているが、厳しい財政状況のなかで、新しい時代を切り拓く生涯学習を推進していくためには、少ない費用で質の高い事業を行う、いわゆるコストパフォーマンスを高めていくことが必要である。また、学習機会の提供事業(講座)には、市民が主体的に地域の課題の解決に取り組み、市民相互の仲間づくりや支えあう機運を醸成していくことが求められている。「市民との協働」は市政運営の主要な柱であるが、公民館事業はまさに協働事業としやすい分野であり、より効果的に実施できる分野である。このため、関係機関や団体との連携や参画機会を拡大し、市民が意欲的に取り組める学習環境の充実を図るとともに生涯学習事業をまちづくりにつなげていくことを目指す。</p>						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度							
平成24年度	実施	協働、連携の情報収集を進めることにより、地域課題の精査を図る。					
平成25年度	実施	協働、連携の情報収集を進めることにより、地域課題の精査を図る。					
平成26年度	実施	協働、連携の情報収集を進めることにより、地域課題の精査を図る。					
平成27年度	完了	協働、連携の情報収集を進めることにより、地域課題の精査を図る。					
成果指標	指標名	連携事業実施回数				単位	回
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値		3	3	3	3	3
	実績値		4				0
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額		0	0	0	0
		実績額					0
見込まれる その他効果 (金額以外)		市民団体等との調整や事業の見直しを通して、公民館の果たすべき機能を再確認及び重点化できる。	市民団体等との調整や事業の見直しを通して、公民館の果たすべき機能を再確認及び重点化できる。	市民団体等との調整や事業の見直しを通して、公民館の果たすべき機能を再確認及び重点化できる。	市民団体等との調整や事業の見直しを通して、公民館の果たすべき機能を再確認及び重点化できる。	スピード・コスト・成果を重視する「行政改革」の目的意識を持って業務に取り組む職員の育成	

アクションプラン(平成24年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B			
番号・取組事業名	13009	市民との協働による講座の企画	作成日	H24.4.1	更新日	H25.3.31			
担当部署	281100	生涯学習部中央公民館	責任者	海老原謙一	担当者	永野裕子			
	区分	取組内容・目標							
平成24年度	実施	協働, 連携の情報収集を進めることにより, 地域課題の精査を図る。							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	連携・協働事業(講座や教室)の企画内容を検討			○		○			
2	連携・協働が可能な団体・組織との折衝と合意形成(企画内容や目的)				○		○		
3	実施に至るまでの役割分担を確認				○		○		
4	講師の依頼				○		○		
5	連携・協働事業の周知				○		○		
6	連携・協働事業の開催(事業のアンケート調査)				○		○		
7	アンケートの分析				○		○		
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	公民館事業では, 学習内容の充実を図るため, 柏市を拠点に活動を続けるNPOや関係団体等との連携を進め, 学習内容および講師選定など検討しながら, 公民館講座の更なる充実を図り, 情報提供の拡大等を目指している。 上半期は, 6月に柏市私立幼稚園協会と連携して家庭教育講座を実施した。下半期は, 2月に家庭教育講座の実施を予定している。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	連携事業実施回数		計画値	単位	回	実績値	単位	回
					3			4	
	達成状況【成果】	達成		コメント	成人教育事業として, 市民自主企画講座を実施し, 連携を進めながら, 事業の充実を図った。家庭教育事業では柏市私立幼稚園協会との連携事業として, 講演会を行なった。また, 柏市に活動拠点を置く, 子育て支援団体「NPOこどもすぱーす柏」・子どもの文化連絡会との連携も進めた。それぞれの講座をとおして公民館とNPO等の連携を進め, 実績を修めた。今後, 様々な分野を対象に, 地域で活動する関係団体との連携や活動支援を進めながら, 課題解決への方向性の共通認識を図っていく。				
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無		コメント					
	計画値	無							
評価	評価者	草野 啓治	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B		コメント 指示事項	柏市生涯学習推進計画の考え方に沿って, 引き続き事業の充実を図っていく必要がある。				
	方向性	継続実施							